

お客様のニーズが変化すれば、サービス提供内容にも変化が求められます。当然、エネルギーの使い方も変化させなければ省エネは達成できませんが、お客様満足度と両立したエネルギー利用の最適化は可能です。

事例 お客様の笑顔と省エネを同時達成

温泉宿へのお客様ニーズが団体客から個人客の高付加価値サービスへとシフトする中、社長を筆頭とする「快適エコ活動」を展開し、お客様の快適性を損なわずにエネルギー利用の最適化を図り、5年間でエネルギー使用量37%（原油換算987kL）、年間約7,500万円（2016年度比）削減という大幅な省エネを実現しました。

温泉宿へのニーズの変化

- 団体客から個人客主体へシフト
- 高付加価値サービスの提供
- 地球環境にやさしいリゾート

お客様ニーズに合わせたエネルギー利用の最適化

- ✓ 浴槽循環ポンプのインバータ化 **1年で投資回収**
(年671万円、エネルギー使用量2.2%削減)
- ✓ 給湯機をボイラーから電気式に転換
(年798万円、エネルギー使用量4.3%削減)
- ✓ 空調機の個別化(109台)
(年2,719万円、エネルギー使用量8.9%削減)
- ✓ 照明のLED化
(年913万円、エネルギー使用量3.0%削減)
- ✓ 施設利用スペースの見直し(運用改善)
(年2,188万円、エネルギー使用量18.0%削減)

2017年から
快適エコ活動を展開

2021年度からは、「快適エコ活動」第二次計画を開始し、温泉宿の先駆者として「温泉廃熱による再生可能エネルギー利用（高効率ヒートポンプ利用）」について、グループ会社への展開に取り組んでいます。

株式会社一の坊 様 (宮城県仙台市)

1950年創業。宮城県で温泉宿のゆづくしSalon一の坊、松島一の坊等の温泉リゾートを運営。みやぎゼロカーボンアワード「最優秀賞」を受賞するなど地球温暖化対策にも積極的に取り組む。



※一の坊様の省エネ活動の詳細は「省エネ事例集2022年度」でご紹介しています。

